

事前登録制
参加無料

長崎大学高度感染症研究センター 市民公開講座

WHOやクラスター班、 あの感染症対策の 中のひと

講師

東京大学
新世代感染症センター
感染系微生物学分野

古瀬 祐気 教授

医師・医学博士
(MD, PhD)

エボラや新型コロナといった感染症は、今でも重要な課題です。私はこれまで医師・研究者・行政官などさまざまな立場に身を置き、感染症の諸問題に立ち向かってきました。たとえば西アフリカでエボラが大流行したとき、道端には遺体が転がり、医者は次々と国外へ逃げ出し、ほとんどの公共サービスが停止する中、私はWHO（世界保健機関）コンサルタントとして“そこ”にいました。

2020年からは日本政府の新型コロナ対策にも関わっています。そんな世界で私たちがどんな活動をしているのか、自身の経験を交えながら紹介しようと思います。

講師略歴

フィリピンで感染症研究を行い博士号を取得したのちに、東北大学医学部を卒業。成田赤十字病院で臨床研修後、Duke大学でウイルス学研究に従事。さらに、WHO感染症コンサルタントとして西アフリカでエボラ対策活動などに携わり、新型コロナウイルス感染症パンデミックでは日本でクラスター対策班や政府分科会のアドバイザーを務めた。東北大学・京都大学・長崎大学を経て、2024年より現職の東京大学。また、長崎大学高度感染症研究センターブラジルプロジェクト拠点の研究開発分担者であり、多くのプロジェクトで共同研究を行っている。

令和8年

8月22日^土 14:30~16:00

会場 長崎大学坂本キャンパス1（長崎市坂本1-12-4）
高度感染症研究センター本館1階

開催方式 対面及びオンライン（Zoom）

会場参加 要事前申込み 先着30名

オンライン参加 要事前申込み 先着200枠

申込方法 会場参加申込 オンライン参加申込

またはセンターHPをご覧ください
<https://www.ccpid.nagasaki-u.ac.jp/20260822-2/>

申込締切 令和8年8月19日（水）17:00（定員になり次第締め切ります）

会場：長崎大学坂本キャンパス1
（長崎市坂本1-12-4）
高度感染症研究センター本館1階



テニスコート横の
1階玄関から入館

自家用車での入構
はご遠慮ください。

お問い合わせ

長崎大学高度感染症研究センター

TEL: 095-800-4306（平日8:45～17:30受付）



0120-095-819

e-mail: ccpid_event@ml.nagasaki-u.ac.jp